

## 品質保証体制

東罐興業は経営理念に示す通り「品質を全てに優先させて包装容器のプロとして専門技術を磨きお客様の良きパートナーとして信頼され感謝される企業づくりを目指します」を基軸として、お客さまや社会のニーズに応え、開発・調達・生産・販売・物流の全てのプロセスにおいて、時代に合った品質の確保・向上に取り組んでいます。

### ○ 品質マネジメント

東罐興業は社長を委員長とし、各本部長を中心とした委員からなる中央品質委員会を設置し、品質保証ならびに品質活動・教育などを包含した活動を行い、各活動のレベル向上に取り組んでいます。

2015年度の品質活動方針を「経営理念の原点に立ち返り、品質を全てに優先させ、お客様目線でものづくりをしよう!」と定め、「あたり前に、協働品質」のスローガンの下、品質保証室の活動として次の4項目を重点に取り組みました。

1. 品質保証体制の進化  
製品規格書の見直し・検証、工程検討会<sup>\*1</sup>の運用、三大重篤クレーム<sup>\*2</sup>の再発防止
2. 新製品における品質保証体制の進化  
デザインレビュー制度を定着させ、トラブルを未然に防ぐ体制づくり
3. 食品安全対応の進化  
FSSC22000の取得、ISO9001と統合運用によるマネジメントシステム構築
4. 教育による人材育成の進化  
品質保証室主幹で、品質保証室メンバーに対し品質に関する基礎知識の習得

※1 工程検討会：前日の生産状況確認およびトラブル時の処置の適正性確認から出荷判定

※2 三大重篤クレーム：製品回収につながる異品種、漏えい、異物クレーム



大阪工場 工程検討会



品質保証室 基礎教育

### ○ 食品安全対応の進化 ～マネジメントシステム構築状況～

2015年12月に食品安全マネジメントシステムであるFSSC22000を全工場（8工場1事業所）で取得完了しました。

食の安心安全をさらに高めた食品容器をお客さまに提供する考えの下、既に各工場で取得運用されている品質マネジメントシステムISO9001と、FSSC22000の統合運用を推進します。